

大高同窓会報

発行

千葉県立大多喜高等学校同窓会

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481

〒298-0216 TEL 0470-82-2621

学校HP <https://cms2.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>

同窓会HP <https://dousoukai.site/otaki-h/>

E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp

印刷 (株) サラト

姫路市北条宮の町172番地

TEL 079-284-1380



会長あいさつ

同窓会長 猿田 寿男 (昭42高)

大多喜高校同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本会の運営にご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、10月の同窓会総会をはじめ、千葉大会及び勝浦支部の総会に出席させていただきました。多方面でご活躍されている同窓生の皆様とともに、在学当時の思い出を振り返るとともに、大多喜高校のさらなる飛躍に向け学校が抱える課題を共有し、今後の同窓会としての取り組み方針などについて十分に意見交換をさせていただくことができました。

そして、今年の卒業式と入学式はあいにく出席が叶いませんでしたが、卒業生の皆さんはそれぞれの進学先・就職先などで大多喜高校の卒業生として自信を持って勉強や仕事に取り組み、入学生の皆さんは豊かな自然に囲まれ落ち着いた環境の中で先生方の熱心なご指導のもと、将来の目標にむかって日々文武にはげまれますようご期待いたします。

さて、大多喜高校の現況についてですが、現在1学年4クラス、定員160名となっており、また近年は入学希望者が定員に満たず、二次募集も行っている状況です。

また、学区内の中学生の減少傾向が続き、夷隅郡市の中学生は平成23年度と来年度を比較すると約150名の減少となっています。生徒数の減少は今後の学校運営においての重要な問題ですが、地域全体で考えていかななくてはならない課題でもあります。

夷隅地域においても各自治体で人口減少対策のための取り組みを行っており、それが実を結び、地域に魅力を見出し、Uターンや、新しく移住される方も少しずつ増えてきています。人口減少問題は一朝一夕には解決のできない課題ではありますが、知恵とアイデアを出し合い、地域の活力を高め、それがゆくゆくは生徒数減少に対しての解決策につながるように、私自身も努めてまいりたいと思っております。

そして、生徒や地域住民の足であるいすみ鉄道につきましては、昨年開業30周年を迎えました。経営が厳しいなか観光列車としても全国から注目を集め、多くのファンにも慕われています。大多喜高校においても活性化プロジェクトとして、生徒の皆さんが駅舎の清掃をはじめとした様々な活動を継続されており、とても心強く思います。同窓会会員の皆様におかれましても、引き続きいすみ鉄道へのご支援もよろしくお願い申し上げます。

また、今年2月には同窓会名簿を新たに発刊いたしました。皆様方のご協力に感謝いたしますとともに、本名簿が皆様方の親睦を深める一助となれば幸いです。

さらに、大多喜高校創立120周年を迎えるにあたり、来年には記念式典の開催も予定しております。

今後も伝統ある大多喜高校の更なる飛躍に向けて皆で力を合わせて頑張っていきたいと思います。

結びに、川崎校長先生をはじめ、諸先生方の教育に対する情熱に敬意と感謝申し上げますとともに、母校の一層の発展並びに同窓生の皆様のご健勝とご多幸・ご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



御挨拶

校長 川崎 浩祐

同窓会会員の皆様方には、日頃より母校の教育活動に多大なる御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。私は、本年4月から近藤前校長先生の後任として勤務することになりました川崎浩祐と申します。千葉市で育ち、保健体育の教員として千葉県に採用され、教員としては、小金高校、幕張総合高校、県立千葉高校に勤務いたしました。また、県教育庁体育課の指導主事や副課長として都合13年間、国体選手強化やスポーツ振興計画の策定などにかかわっておりました。前任は千葉市立千葉高等学校校長を3年間務めました。

この度、県内有数の歴史と伝統を誇る、この大多喜高等学校に赴任できましたことをとても光栄に感じるとともにその重責に身が引き締まる思いであります。これま

での経験を活かし、本校の益々の発展のために力を尽くす所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、明治33年(1900年)、千葉県立大多喜中学校として創立され、以来、幾多の変遷を経て、現在の大多喜高校の姿があります。本年で創立120年の節目を迎えることとなりましたが、この間、現状に安住することなく、常に新しい時代への挑戦を続けております。これはひとえに、創立当初からの、地域の先人、並びに関係各位の並々ならぬ御努力、御支援、御協力の賜であり、27,000有余名を数える、同窓生の諸先輩方の母校愛によるものであると、深く感謝と敬意を表するところであります。

「大中至正」

大高の坂を上りきり、正門を抜けた右脇に、この校訓

の刻まれた碑は建てられています。生徒は毎日、この碑を見ながら校舎に入っていきます。「自主、進取の気概を持ち、正しく誠実な生き方を希求する」生徒たちはこの校訓の本義を忘れることなく、諸先輩が築き上げた伝統や校風をしっかりと受け継ぎ、落ち着いた高校生活を送っています。

21世紀の社会は知識基盤社会であり、新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増し、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて加速度的に進展しています。このように、複雑で予測困難な時代にあっては、生徒たち一人一人が、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合い、関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と、幸福な人生の創り手となっていけるようにすることが益々重要となります。

現在の本校は「至誠純真」「進取向上」「自主協同」の教育目標のもと、明善祭・スポーツ大会などの学校行事は、生徒が主体性を発揮し、積極的な参加のもとに行われています。いすみ鉄道活性化プロジェクトを始めとする地域への貢献活動も活発に行われています。また、部活動も頑張っており、今年の加入率は高く89%となっています。そして、何よりも練習や試合に全力を尽く

し、最後まであきらめない姿勢が今も脈々と息づいていることに、敬意とともに大変な嬉しさを感じているところです。

学習面においては、少人数や習熟度授業、アクティブラーニング型授業の実践など、質の高い授業を展開することで、主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒の希望する進路実現の一層の向上を目指しています。

また、今年度から地域の社会課題等について地域と協働して研究する「大高探究」を導入し、これからの社会を力強く生きていくために必要な課題発見力・課題解決力・自己表現力などの育成に努めるとともに、新たな時代を地域から支える人材の育成と、郷土「大多喜」の地域創生への貢献を目指しています。

生徒には、120年の歴史と伝統に輝く「大高生」として、自覚と誇りを持ち、伝統を受け継ぎ、そして新たな創造を目指して、真の「生きる力」を身につけ、国内のみならず、「夷隅は遠く世界を目指す」の気概を持ち、世界に大きく貢献できる人材としてたくましく成長することを期待しています。

終わりに、同窓生の皆様には今後とも母校のために変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、併せて皆様方の益々の御発展を祈念申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

大多喜高校の近況

～卒業式、入学式で祝辞を述べさせていただきました～

第71回卒業証書授与式 同窓会祝辞

平成31年3月7日 副会長 加藤 茂範 (昭45高)

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

同窓会会長で勝浦市長の猿田寿男さん、所用のため出席出来ませんので、副会長の加藤から、お祝いの言葉を申し上げます。

本校は、19世紀最後の年 1900年(明治33年)千葉県大多喜中学として創設されました。以来、平成30年度で119年目となります。

皆さん150名が加わり、これで卒業生の総数は27,800名(27,877名)を超えることになります。

皆さんは、この伝統ある大多喜高校で学んだことに誇りを持って、今後の人生を歩んで欲しいと思います。そして、個人の「夢」や「目標」の実現に努めてください。さらに、その時々々の国の課題に、関心を持つなど、主権者としての自覚も持ってください。

現在、人生は「80年、90年時代」です。皆さん一人ひとりの前途は洋々たるものですが、日本という国全体で見ますと、「社会保障の問題」、「資源・エネルギー問題」、あるいは「AI(人工知能)の実用化に伴う雇用の問題」など、課題は沢山あります。

さて、来年2020年に東京でオリンピック・パラリンピックが開催されますが、今から55年前の1964年(昭和39年)にも、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されました。当時は、東海道新幹線の開通など、日本の経済が「右肩上がり」の中での開催でした。

この大会で、池田敬子さんという人が、体操競技に出場して、団体総合で銅メダルを獲得しました。女子の体操競技で日本は、東京大会以降、今日までオリンピック・

世界選手権を通して団体総合で3位以内に入ったことはありません。

55年前の当時は、体操に限らず女子のスポーツ界は全く競技環境に恵まれていませんでした。結婚すれば引退していくのが当然でした。しかし、池田さんは違いました。専任コーチのいない中、二児の母親として、小さなお子さんを練習会場に連れて行き、授乳や食事をさせたり、また、海外遠征から帰国するとお子さんが池田さんを忘れていたり、大変な中で家事・育児・体操競技に取り組んでいました。

当時、女子の体操競技は、ソ連とチェコスロバキアが群を抜いて強く、その後を日本など数カ国が追いかける形でした。池田さんは何としても、ソ連とチェコスロバキアに勝つという「目標」のために、東京大会以降も競技を継続しました。少し前に、この女子体操界を牽引してきた池田さんをテレビで拝見しましたが、現在86歳になられても、体操競技にかける熱意は、現役時代と全く変わらず、感動しました。

皆さんも、池田さんのように、日常生活においてしっかりと「目標」を持ち、その内容の実現に努めてください。その実現に努める過程(プロセス)が皆さんを逞しく成長させ、実りの多い人生を形作ると思います。

皆さんの成長する姿が、家族や友人、職場の同僚や先輩からの信頼感を増し、更に地域を支え、日本を支えることにもなります。

終わりになりますが、保護者の皆様方にお祝いの言葉を申し上げます。

本日はお子様方のご卒業、本当におめでとうございます。校歌の最後に「讃えよ 永遠に われらが母校」とあります。

お子様方は本日をもって卒業されますが、本校が校歌のとおり永続しますよう保護者の皆様方には今後とも、大多喜高校を見守って頂けましたら、大変ありが

たく思います。

また、今日まで卒業生を温かくご指導して頂きました近藤校長先生を始め全ての先生方に、同窓会を代表しまして心から感謝申し上げます。

以上を持ちまして祝辞といたします。

平成31年度 入学式 同窓会祝辞

平成31年4月9日 副会長 加藤 茂範(昭45高)

新入生の皆さん、大多喜高校へのご入学おめでとうございます。同窓会としまして、皆様のご入学を心から歓迎するところであります。

本校は、19世紀最後の年 1900年(明治33年)に、千葉県で県立中学校としては三番目となる大多喜中学校として創設されました。以来、本年度で120年目の節目の年を迎えることとなります。

また、本校は、1590年に築城された大多喜城の中にあり、豊かな自然に囲まれ、教育環境としては、大変恵まれています。

さて、皆さんは今、高校生活への大いなる期待と、少しの不安を持っていることと思います。

高校生に求められる取り組むべき目標あるいは、生活態度は、主に次の三つではないかと思えます。

一つ目は、「将来の目標に向かって、しっかり勉強すること」です。学校生活の大半は授業ですので、授業を重視することです。教科書がそのベースになりますので、教科書の内容理解に努めることです。理解できなかったことが理解できるようになりますと、勉強することへの関心が高まります。分からないことはそのままにせず、先生方に教えてもらいましょう。大多喜高校の先生方は、皆さん優秀で親切ですので、必ず熱心に教えてくれます。

二つ目は、「友人を、作ること」です。友人がいるこ

とで喜びが2倍になり、悲しみは半分になる、と言われるますが、友人の存在が皆さんの学校生活を明るく楽しいものにします。

三つ目は、「部活動を通して自分を成長させる」ことです。部活動は、自分の体を鍛えたり感性を磨いたりする場です。また、クラスと異なり学年を超えての先輩・後輩との繋がりの中で、礼儀やマナーが身につきます。更に、試合などで勝った時の喜びが自信となり、負けた時の悔しさが、自分を見つめ直す契機となります。是非、部に加入して視野を拡大し、自分自身を一層成長させてください。

以上の三つの目標に向かって、高校生活を中身の濃い期間にしてください。

また、心身の成長著しい高校時代は、悩みや不安は当然沢山あります。それらがあるということは、自分が成長していることでもあります。

悩みや不安がある時は、「原点に戻って考えること」が大切です。原点とは、何故、自分は大多喜高校へ入学しようとしたかの動機や目的を再度確認することです。そこに解決のヒントがあると思えます。

皆さんが卒業の時に、大多喜高校に入学してよかったと、心から思える高校生活となることを願って、同窓会を代表しての祝辞とします。

支部・OB会だより

▶▶ 大多喜支部

大多喜支部では5月24日(金)中央公民会にて、飯島援会長、川崎校長先生を来賓にお迎えし、平成31年度の支部総会を開催いたしました。事業報告、決算報告、又、本年度の事業計画(案)、及び予算(案)についても承認されました。事業報告の中では「いすみ鉄道支援作業」「卒業式会場へのポット花贈呈」等の報告がされました。前年も報告しました大多喜高校支援推進委員会に出席し幅広い方々からの建設的な意見がかわされております。学校存続のあらゆる対応策が主

な内容となっている事はもちろんです。生徒からは、ボランティアへの参加希望等発言が出ています。終わりに昨年11月6日(火)に町内にあります千葉夷隅ゴルフクラブにおきまして、親睦コンペを開催したところ例年数名の参加でしたが、昨年は5組20名の参加者で楽しい一日を過ごす事ができました。本年も11月初めに計画しております。昨年参加者の方々には「同窓生、同級生等に声かけを」との提案がありました。

大多喜支部長 野村隆夫

▶▶ 女子高支部

女子高支部では5月26日に川崎校長先生、佐藤事務局長、佐藤同窓会事務局長をお迎えし会員28名の出席を得て総会を開催しました。

川崎校長先生より4月に赴任され、自己紹介、学校の印象や様子について話されました。また、創立120周年となり来年の式典の準備についてもお話がありました。事務局佐藤先生からは、入学選抜、進路指導、部活動の



様子等、学校の現況について説明がありました。
 総会では、30年度事業報告、決算の承認、令和元年度行事計画案について承認されました。総会、懇親会のあと、昨年と同様に歌の会を実施しました。児安敬子さ

んと矢澤弘子さんによるすばらしい歌声と伴奏、やさしくちょっとひきしめる指導のもと全員で合唱、笑顔の広がるなどやかなひとときをすごし散会しました。

▶▶ 経友会報告

平成30年11月21日、万木城C Cを会場に、第70回経友会ゴルフコンペを開催しました。

当日は、天候に恵まれ、女性1名を含む15名の参加者は、和やかな雰囲気の中で、心地よい汗を流しました。

コンペ後の懇親会の席上、引田会長から同窓会事務局担当者に、後輩の活躍に役立てていただく趣旨で3万円を手交しました。

経友会は、当初、郷里を離れた同窓生が、母校への支援と会員相互の親睦を目的に発足しました。現在は、同窓生であればどなたでも行事等への参加を歓迎いた

します。

現在は、総会と年2回(春・秋開催)のゴルフコンペを実施しております。コンペは、開催毎に母校近くのゴルフ場を会場に行われております。

経友会役員	
会長	引田紘一 (S33年度卒)
幹事	秋田幸一 (S46年度卒)
幹事	太田雅彦 (S58年度卒)

▶▶ サッカー一部OB会

第18回近隣少年サッカー大会が開催

第18回大多喜町近隣少年サッカー大会が、12月15日(土)大多喜町多目的広場で開催され、夷隅・長生両郡市内から総勢16チームが参戦しました。

今大会には、総野小FCが5年ぶりの参加を果たし選手たちは大喜び。

大会を主催する千葉県立大多喜高等学校サッカー部OB会(会長 渡辺八寿雄)は、「子どもたちは夷隅のワールドカップとしてとても楽しみにしている。長く続けていきたい」とコメント。

開会式に駆け付けた大多喜町教育委員会宇野輝夫教育長は、「思い出に残る、悔いのない戦いを」とエールを送りました。

試合は、過去6回を制した大原FCが順当に2回戦まで勝ち進んだものの3回戦で太東FCに1対0で敗退。太東FCは決勝戦へと駒を進めました。

一方別のサイドからは、第13回大会で優勝した御宿FCが昨年度の覇者長者FCをPK戦の末3対1で破りベスト4へ進出し、過去3回の準優勝を誇る東海小学校と対戦しました。初優勝を目指す東海小学校は果敢に敵陣營へと詰め寄りましたが結果は、2対1で御宿FCの勝利。

決勝戦では、第11回大会で3位となったもののまだ優勝経験のない太東FCと御宿FCとの戦いとなり、3対1で御宿FCが勝利し、2度目の優勝を飾りました。

ピッチで活躍する我が子の雄姿を、ピッチの外で声を枯らして応援する保護者の姿が印象的でした。

また3位決定戦では、大原FCが3対0で東海小を破り堂々3位に入賞しました。

【参加チーム】

御宿FC・太東FC・大原FC・東海小学校・長者FC・勝浦FC・古沢小学校・総野小FC・中根FC・茂原SC・夷隅小FC・東FC・西FC・大多喜小学校・長南グリーンウエーブ・浪花小学校



▶▶ 大原支部

大原支部では、下記の通り今年度の支部総会を実施致します。(尚、大原支部の会員とは、旧大原町に居住の同窓生が対象となります。)

- 1、期 日 令和元年10月6日(日) 18時より
- 2、場 所 蕎麦処 山長(大原国道沿い)
大原9536番地
電話(0470-62-3137)
- 3、会 費 3,000円

- 4、出席連絡 9月29日(日)までに
幹事 新井洋一(090-7566-0351)

へ連絡をお願い致します。

大原支部と致しましては、より多くの支部同窓生の参加を希望しておりますが、経費節約のため、同窓会報よっての連絡となることをお許しください。

以上大原支部原稿として、宜しくお願い致します。

大多喜高校同窓会大原支部幹事 新井 洋一
令和元年7月13日記

▶▶ 岬支部

令和元年度同窓会岬支部総会・懇親会のお知らせ

日 時 令和元年10月19日(土)
午後6時から

場 所 「ひかり寿司」 いすみ市岬町椎木1258

TEL 0470-87-5150

総 会 平成30年度会計報告、その他議事、

母校からの近況報告（生徒の活躍等）
懇親会 総会終了後 会費6,000円
 ※お問い合わせ、お申し込みは、下記までお願い
 します。

連絡先

TEL 090-4831-1986 矢代 一秀（高21回 昭44）

TEL 090-5334-3011 浅野 友之（高32回 昭55）

平成30年度同窓会岬支部総会は、太田洋いすみ市長、
 母校から近藤克之校長先生、事務局から竹山亮宏先生
 をお迎えし、支部会員21名で開催しました。

平成29年度会計報告、母校からの近況報告、母校支
 援について提案があり、すべての議案が満場一致で承
 認されました。

懇親会では、近藤校長先生と運動部活動のガイドラ

インや働き方改革の対応準備の話聞き、部活の変化
 を知りました。当支部特別顧問の太田市長より、いす
 み市の人口推移や地域の現状についてのお話と、岬支
 部への更なる支援の言葉をいただきました。

今回出席の皆様より3万円の母校支援金を拠出して
 いただきました。



▶▶ 昭和45年3月卒業 同期会報告

3年ぶりに、学年全体の同期会を平成30年9月8日
 に、「九十九里ヴィラそとぼう」で、開催しました。参
 加者は、58名でした。同施設のご配慮もあり、時間を
 大幅に延長して頂き、同期会は大いに、盛り上がりま
 した。

会終了後、会場を見渡したところ、まだ、食べ物等が
 結構残っていました。それだけ、クラスを超えて久し
 ぶりに再会したので、話題に事欠かなかった証ではな
 いかと幹事一同は、結論づけました。

各クラス幹事を選出して、学年全体の幹事は吉野洋
 雄（F組）さんに、お願いしました。

3年後の古稀に同期会を開催することを確認し、最
 後に校歌を歌いお開きとなりました。

同施設の別室で行った二次会も盛り上がったことは、
 言うまでもありません。



「談笑が食欲を凌駕」

平成29年度 同窓会決算書

【一般会計】

収入総額 5,251,697 円
 支出総額 2,489,869 円
 差引残額 2,761,828 円（次年度へ繰越）

収入の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	増減額	説 明
繰越金	2,984,109	2,984,109	0	前年度繰越金
入会金	795,000	795,000	0	5,000円×159名
賛助金	1,500,000	1,402,570	△ 97,430	同窓会報発行賛助金
雑収入	21	70,018	69,997	寄付金、預金利息、記念誌売り上げ
計	5,279,130	5,251,697	△ 27,433	

支出の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	残 額	説 明
会議費	250,000	99,636	150,364	総会補助、役員会議費
運営費	150,000	49,862	100,138	事務費、通信費
活動費	600,000	423,520	176,480	支部活動費、旅費等
広報費	2,000,000	1,870,651	129,349	同窓会報発行代
予備費	2,279,130	46,200	2,232,930	
計	5,279,130	2,489,869	2,789,261	

監 査 報 告 書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。
 平成30年9月7日

監事 酒井太門 ㊟

監事 渡邊雅文 ㊟

【特別会計】

収入総額 1,795,127 円
 支出総額 0 円
 差引残額 1,795,127 円（次年度へ繰越）

収入の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	増減額	説 明
繰越金	1,795,113	1,795,113	0	前年度繰越金
繰入金	0	0	0	
雑収入	17	14	△ 3	預金利息
計	1,795,130	1,795,127	△ 3	

支出の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	残 額	説 明
繰出金	0	0	0	
予備費	1,795,127	0	1,795,127	
計	1,795,127	0	1,795,127	

監 査 報 告 書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。
 平成30年9月7日

監事 酒井太門 ㊟

監事 渡邊雅文 ㊟

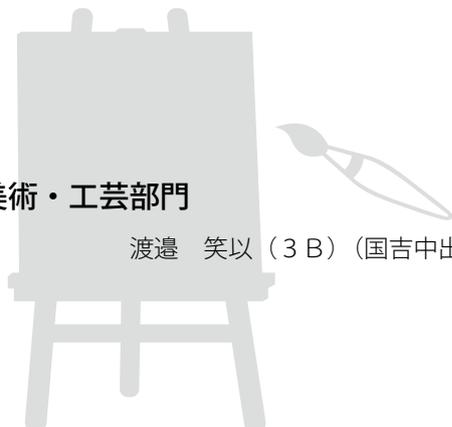


部活動状況

令和元年 第43回全国高等学校総合文化祭

美術・工芸部門

渡邊 笑以 (3B) (国吉中出身)



千葉県陸上競技選手権大会

男子3000m障害 第5位 渡邊 玲哉 (3D) (大多喜中出身)
第92回関東陸上競技選手権大会出場



体 育 系	男	女	合計
柔 道	7	3	10
剣 道	7	5	12
陸 上 競 技	19	14	33
弓 道	21	15	36
野 球	24	3	27
ソフトテニス	15	9	24
バレーボール	11	12	23
バスケットボール	9	13	22
サッカー	21	5	26
卓 球	15	5	20

文 化 系	男	女	合計
生 物	18	1	19
美 術	2	17	19
書 道	2	9	11
マンドリン・ギター	1	21	22
演 劇	6	8	14
英 語	0	2	2
吹 奏 楽	17	23	40
茶 道	8	24	32
全 合 計	203	189	392



平成30年度進路状況報告

進路指導主事 森 裕香

平成30年度進路指導を振り返る

進路決定状況としては、大学が全体の約55%、短大が6%、専門学校が約27%、就職(含公務員)が約7%という割合となり、過去2年と比較すると、短大の割合が減り、4年制大の割合が増えている。特に、看護系の4年制大への進学が例年より多かったことが昨年度の特徴のひとつと言える。

また、2名の生徒が一般受験による国立大学への合格を果たし、本人の弛まぬ努力と、学年に於ける3年間の指導が実を結んだ、非常に喜ばしい結果となった。私立大に関しては、近年の都内私大定員数厳格化の影響による、首都圏への受験生の流れに伴い、県内大学への志願者も増える傾向にあり、数年前に比べ、難易度が上がる結果となった。さらに、2020年度入試より実施される新入試制度を先取りする形で、大学によってはAO入試においても「意欲」のみならず、「学力」を評価する動きが見受けられた。結果、本校でも合格に至らないケースもあり、1年次からの積み重ねの大切さを実感させられた。

民間への就職は、求人数は増えたものの、希望者は4名であった。公務員に関しては、年明けまで粘り強く機会を捉え、地元への就職を果たした生徒もあった。

昨年度の進路指導の概要

- (1) **進路説明会**〈3年〉4月
外部講師等による分野別(大学・短大、看護医療、専門学校、公務員、民間就職)進路説明
- (2) **夏期・冬期実力養成講座・進学課外授業・公務員講座**
- (3) **大学見学会**〈1年〉7月
明治大学(駿河台)・東京農業大学
- (4) **看護・介護・福祉体験、県庁インターンシップ、大多喜町インターンシップ・小中学校サマースクール学習支援ボランティア等**〈全学年〉7・8月
- (5) **勉強合宿**〈1、2年〉8月
城西国際大学安房ラーニングセンター(鴨川市)にて
- (6) **保護者進路講演会** 11月
自覚 真由美氏「進路実現に向けて～親としてできること」
- (7) **1・2年大学出張講義体験会**〈1、2年〉11月
神田外語大・敬愛大・学習院大・立正大・千葉工大・北里大・千葉県立保健医療大・順天堂大・女子栄養大・女子栄養大短期大学部・千葉敬愛短期大学部
- (8) **進路講演会**〈全学年〉12月
石田 陽一郎 氏「社会で求められる力～コミュニケーション能力UP講座」

- (9) **2年進路説明会** 12月
大学・短大・専門学校・民間就職・公務員の進路説明
- (10) **2年公務員説明会** 〈1、2年〉12月
外部講師による説明
- (11) **進路報告会**〈1、2年〉3月 卒業生よる体験談ほか
千葉大・群馬大・千葉県立保健医療大・文教大・国際医療福祉大・東京電機大・駒澤大・日本大・神田外語大・立正大・淑徳大・千葉敬愛短期大・鶴舞看護専門・君津中央病院附属看護・千葉県職員・勝浦市役所

平成30年度卒業生主な進路先

〔四年制大学〕(50音順)

群馬大・千葉大・千葉県立保健医療大・植草学園大・江戸川大・学習院大・神奈川大・亀田医療大・神田外語大・敬愛大・工学院大・国際医療福祉大・国際武道大・国士館大・駒澤女子大・駒澤大・実践女子大・秀明大・淑徳大・城西国際大・城西大・女子栄養大・白梅学園大・大正大・高千穂大・玉川大・千葉経済大・中央大・帝京大・帝京平成大・東京工科大・東京工芸大・東京国際大・東京情報大・東京電機大・東京都市大・東邦大・日本体育大・日本大・文教大・法政大・武蔵大・明海大・立正大・和洋女子大

〔短期大学〕(50音順)

植草学園短大・駒澤女子短大・女子栄養大短期大学部・千葉敬愛短大・千葉経済大短期大学部・千葉明德短大・新渡戸文化短大・日本大学短期大学部

〔専門学校〕(順不同)

千葉県立鶴舞専門・亀田看護専門・君津中央病院専門・北原学院千葉歯科衛生専門・神田外語学院・千葉医療秘書専門・東京IT会計法律専門・東京医薬専門・東京栄養食料専門・日本デザイナー学院・日本ホテルスクール・武蔵野調理師専門 他

〔公務員・民間就職〕

千葉県職員・大多喜町役場・千葉県警・勝浦市役所・大崎電気システムズ株式会社 他

◇平成30年度卒業生進路状況

種別 性別	大学		短大		専門 学校	就職			浪人 ・他	合計
	国公立	私立	国公立	私立		民間	公務員			
男	0	41	0	2	13	2	4	6	68	
女	3	39	0	7	27	2	3	1	82	
計	3	80	0	9	40	4	7	7	150	

事務局だより

●平成30年度末人事異動

《転出・御退職された先生方》

- 近藤 克之 H29～ 2年間
安房高等学校 再任用
- 山岸 幸雄 H28～ 3年間
千葉商業高等学校 再任用
- 佐藤 幸生 H23～ 8年間
大多喜高等学校 再任用
- 木嶋 弘士 H25～ 6年間
御退職
- 竹山 亮宏 H22～ 9年間
御退職
- 鎌田 健一 H30～ 1年間
御退職
- 尾形 保夫 H30～ 1年間
大多喜高等学校 再任用
- 高橋 一浩 H23～ 8年間
長狭高等学校 再任用
- 小川 一大 H26～ 5年間
成東高等学校
- 中村 俊夫 H30～ 1年間
長生高等学校
- 田中 正子 H23～ 8年間
長狭高等学校
- 米山 翔太 H30～
大多喜高等学校 臨任講師

《着任された先生方》

- 川崎 浩祐 千葉市立千葉高等学校
- 片岡 和晃 大原高等学校
- 尾形 保夫 大多喜高等学校 再任用
- 山仲俊一郎 姉崎高等学校
- 齋藤 孝義 茂原高等学校 再任用
- 西 友夫 大原高等学校 再任用
- 佐藤 幸生 大多喜高等学校 再任用
- 伊東 裕也 新規採用
- 粟飯原功雄 一宮商業高等学校
- 麻生 貴代 大原高等学校
- 米山 翔太 大多喜高等学校 臨任講師

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓会報の『同窓生の声』に寄稿いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局へご連絡ください。

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481 TEL 0470-82-2621
千葉県立大多喜高等学校同窓会

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は(株)サラトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会 長	猿田 寿男 (昭42高)	
副 会 長	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	加藤 茂範 (昭45高)	
	中村美智子 (昭49女)	
監 事 (会計監査)	地引 敬二 (昭41高)	
	渡邊 雅文 (昭43高)	
顧 問	齋藤 萬祐 (昭32高)	
	山口 登 (昭37高)	
支 部 長	大多喜	野村 隆夫 (昭41高)
	大 原	青柳 英俊 (昭38高)
	勝 浦	猿田 寿男 (昭42高)
	茂 原	村杉 仁 (昭31高)
	千 葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	矢代 一秀 (昭44高)
	女子高	中村美智子 (昭49女)

【支部長は各支部で選出していただいています。】

TOPICS

平成30年度

- 本校による、いすみ鉄道への支援活動の取り組みがテレビやラジオ、雑誌などの多くのメディアに取り上げられました。今後も生徒会やいすみ鉄道対策委員会を中心に積極的に取り組んでいきます。
- 以前は、いすみ鉄道に寄付を頂いた方には、いすみ鉄道よりお礼のはがきを郵送していましたが、29年度からは、はがきは郵送せず、翌年の寄付のご案内の文書に総額を記載させて頂くようになったそうです。
- 大多喜高校同窓会のHPが出来ました。
<https://dousoukai.site/otaki-h/>
支部やOB会などの話題なども載せることが出来ればと思っております。ご覧になってください。

**令和元年度
同窓会総会・懇親会のお知らせ**

日時 **10月27日(日)** 午前11時20分～

場所 勝浦ホテル三日月

会費 男性 8,000円 女性 5,000円

お問い合わせ、お申し込みは、
下記までお願い致します。
TEL 0470-82-2621
(大多喜高校内・同窓会事務局)